

平成19年度 東百合丘こども文化センターの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	財団法人かわさき市民活動センター
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	東百合丘こども文化センターの管理運営に関すること 長沢小学校・南百合丘小学校わくわくプラザの管理運営に関すること

2 管理運営（事業執行）に対する評価

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
施設の運営に関する職員体制に関すること	①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。	職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他のこども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。
施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること	こども会議を定期的開催して行事に関する希望調査を行い、企画に反映させることができた。また、行事を行った後には反省会を開き、こどもたちの感想を聞くことで行事のねらいに対するこどもたちの反応を調査したり、協力してくれたボランティアからの意見も加えたりして実施報告書を作成し、次回への改善資料とした。今年度よりはじめて親子交流広場に参加している乳幼児母親には、希望する行事などについてアンケートを実施した。日常的には、アンケート用紙と箱を設置して、こども大人問わずいつでも意見・要望などを書けるようにした。	継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。提案箱の活用等により積極的にニーズの把握に努めていたことは評価できる。

サービスの提供に関すること	遊具やあそびの指導を充実させ、乳幼児から中高生まで、日々来館するこどもたちがいろいろな遊びを楽しめるように工夫した。行事はニーズの高い館外活動と不特定多数のこどもたちが楽しめる映画会を隔月で実施するとともに、スポーツ大会や料理工作行事もこどもたちの要望を取り入れながら企画した。昨年、体験教室を開催して好評だったヒップホップダンス教室もクラブ化を実現し、ステージ発表を目標として練習に励み、参加者・保護者からの満足度は高かった。	運営協議会やこども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。また、2つのクラブ活動を実施し、事業の充実に努めていた。
事業の実施に関すること	乳幼児親子交流広場を立ち上げ、毎週木曜日にクラブ室を開放した。地域ボランティアに読み聞かせを依頼したり、工作や人形劇、ランチパーティーなどの行事を企画したりすることで、メンバーも定着し交流がもてた。館外活動としては、公園などの屋外で思いっきり遊ぶ行事を複数回、夏季には日帰り1泊で近隣こども文化センターとの合同キャンプ、冬季は専用施設でウインタースポーツを体験する行事を実施し、こどもたちに体験と交流の幅を広げてもらう機会を提供した。こどもボランティア活動としては、周辺地域のゴミ拾い、リハビリセンター訪問、行事ポスター作成などを実施した。	運営協議会等との連携により地域のニーズに合った行事を実施したことは評価できる。また、こどもボランティアを組織し、ごみ拾い活動やリハビリセンター訪問等を実施していたことは評価できる。今後も、ボランティアの活用に努めること。
個人情報の取扱に関すること	肖像権対応として、行事参加者には、申込書にホームページなどへの写真掲載許可を尋ねる欄を作成し、事前承諾を得られた人に限って写真使用するように配慮した。著作権対応として、こどもたちのイラスト応募用紙にもホームページなどへの掲載許可をもらい、名前も本名ではなく考えてもらったペンネームを使用するようにした。使用済み名簿台帳などの資料は、指定の保管場所に速やかに移動して管理した。	個人情報の取扱については、概ね問題なく処理されている。
施設の安全管理に関すること	防犯対策として「くらし安全指導員」による館内研修を実施した。出席できなかった臨時職員にも同じ情報と対応を浸透させるため、再度フォロー研修を企画し、不審者対応のロールプレイングを行うなど、全員が共通した意識をもてるように配慮した。	毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。また、南百合丘小学校・長沢小学校わくわくプラザにセンサーライトを設置し、より安全性を高めていたことは評価できる。
(2) 利用状況	<p>延べ利用者数 17,237人  延べ団体利用数 5,952団体  (主な行事等)  リリーキッズ  こぶん秋まつり</p> <p>(特色のある行事)  ミニボランティア</p>	地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。

②わくわくプラザ	<p>1 長沢小学校わくわくプラザ  登録者数 325人  延べ利用者数 17,167人  (主な行事等)  人生ゲーム  わくわく祭り</p> <p>(特色のある行事)  ランチたき火パーティー</p> <p>2 南百合丘小学校わくわくプラザ  登録者数 408人  延べ利用者数 14,401人  (主な行事等)  けん玉の日  わくわく夏まつり</p> <p>(特色のある行事)  おたのしみ会おやじバンド</p>	行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。
----------	--	---

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導																														
(3) 収支状況																																
① 収支状況	<p>(単位：円)</p> <table border="0"> <tr> <td>収入</td> <td>指定管理料</td> <td>56,014,742</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>人件費</td> <td>46,518,649</td> </tr> <tr> <td></td> <td>管理費</td> <td>2,554,461</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務経費</td> <td>1,937,847</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他経費</td> <td>1,436,042</td> </tr> <tr> <td></td> <td>青少年事業資産取得支出</td> <td>909,090</td> </tr> <tr> <td></td> <td>減価償却引当資産取得支出</td> <td>40,492</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第1回精算に伴う返納金</td> <td>636,363</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>54,032,944</td> </tr> <tr> <td>差引</td> <td></td> <td>1,981,798</td> </tr> </table>	収入	指定管理料	56,014,742	支出	人件費	46,518,649		管理費	2,554,461		事務経費	1,937,847		その他経費	1,436,042		青少年事業資産取得支出	909,090		減価償却引当資産取得支出	40,492		第1回精算に伴う返納金	636,363		合計	54,032,944	差引		1,981,798	事業実施後指定管理料の残額を戻入しており指定管理料の範囲内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。
収入	指定管理料	56,014,742																														
支出	人件費	46,518,649																														
	管理費	2,554,461																														
	事務経費	1,937,847																														
	その他経費	1,436,042																														
	青少年事業資産取得支出	909,090																														
	減価償却引当資産取得支出	40,492																														
	第1回精算に伴う返納金	636,363																														
	合計	54,032,944																														
差引		1,981,798																														

### 3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとのこども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他のこども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

### 4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。